

答弁者 市長、教育長

1 子どもの就学援助拡充について

- (1) 本市で取り組む就学援助は、子どもたちが安心して笑顔で小・中学校等の生活を送ることにつながっていると思うが、その実績はどうか。
- (2) 就学援助における入学用品の補助単価は、ランドセルや制服等の購入には不足するものとなっていた。補助単価の引き上げを行うべきと思うがどうか。
- (3) 就学援助による入学用品への補助の支給は、これまでは小・中学校等入学後の7月頃となっていた。しかし、入学用品の準備は前年度に行われる。就学援助の入学用品準備金は、新入学時期の4月よりも前に支給をすべきと思うがどうか。
- (4) 現在、本市の就学援助は、被災世帯や震災により収入が減少した世帯等も対象となっている。震災の影響が続く中での就学援助は、国の基準を踏まえながらも市町村の判断として、対象者が可能な限り拡充されることが大切と思う。今後の就学援助の対象について、市ではどのように考えているか。
- (5) 就学援助は、全国の自治体ごとに援助対象とする費目には違いがある。例えば、クラブ活動の費用などを対象とする、しないといった違いがあるようだが、本市の就学援助の対象費目はどうか。

2 地域と進める市道などの整備・管理作業について

- (1) 道路は、平常時の利用以外に災害時や救急時にも重要な役割を果たす。本市では、市民と行政が進める道路整備として、コミュニティ道路工事費補助金交付の事業が行われており、市道整備箇所などのやむを得ない条件の際に利用されている。これまでの実績はどうか。また、どのような周知を行ってきたか。

- (2) 今年度から被災宅地である市有地の環境整備に、防災集団移転用地管理事業費補助金が適用される。市に申し込んだ自治会が対象となり、地域を自らの力で改善する取組として注目される。この制度の意義はどうか。また、本事業が対象とする面積や申込み状況はどうか。
- (3) 市内各地で道路の草刈り作業や側溝の清掃などが、道路愛護会や自治会を中心に行われている。市民が行う道路維持作業に対する行政からの支援や業務委託はどうか。
- (4) 市道や県道の維持管理作業に対して、重労働を伴う作業内容に見合う支援や簡易な委託条件にしていくことも必要と思う。市では、県とも連携し、地域の実情や要望に沿った改善を進めていくべきと思うがどうか。
- (5) 自治会によっては、草刈りなどの作業の負担が重いという地域もある。市では、どのような支援を考えているか。

3 国民健康保険広田診療所について

- (1) 広田診療所は、今年6月に完成予定となっているが、現在の進捗状況はどうか。
- (2) 現在の広田診療所では、各医療機関や医師の大きな協力により、今年1月から臨時の診療体制が執られている。患者や地域の受け止めはどうか。また、患者や地域からの要望である常勤医の確保についてはどうか。
- (3) 現在、仮設の国保広田診療所では、薬の院内処方できないため、多くの患者は、広田町から小友町や米崎町の薬局まで移動する必要に迫られている。新たな広田診療所での薬の処方や調剤の体制をどのように考えているか。
- (4) 広田診療所が震災以前より継続していた訪問診療は、通院が困難な高齢者などへの往診や予防接種など、重要な役割を果たしている。現在の状況はどうか。